

2020年度 ルーテル学院大学公開講座

— 市民と学生が共に学ぶ大学講座 —

●募集人員

各講座若干名（申込多数の場合は、締切前に申込みをお断りすることもあります）

●受講料

前期・後期 開講科目（1科目 10,000円）〈講義回数 12～14回（科目によって異なる）〉

●申込み受付期間

前期期間申込受付期間：3月9日（月）～3月31日（火）※

（集中講義は、前期申込受付期間のみの受付になります。）

後期期間申込受付期間：8月3日（月）～8月31日（月）※

※期日までに申込書と受講料が共に確認できて申し込み完了となります。

大学窓口でお申込みの方：申込受付時間：9:00～16:30 [11:45～12:45を除く]
[土日祝日、夏期休業期間中（8/13（木）8/14（金））は受付していません。]

郵送にてお申込みの方：上記受付期間中必着で、申込書をご送付ください。

三鷹ネットワーク大学窓口でも申し込みできます。詳細は別紙をご覧ください。

また受講料は受付期間中にお振込み願います。

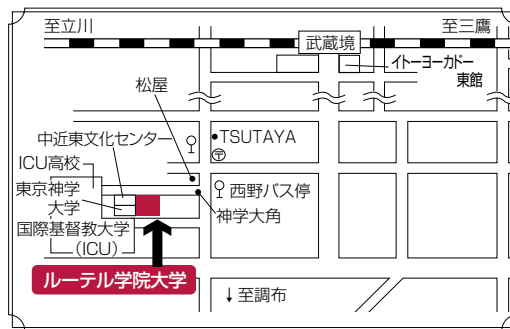
●公開講座お問合わせ先（申込書送付先）

学生支援センター

〒181-0015 東京都三鷹市大沢3-10-20
Tel 0422-31-4682 Fax 0422-33-6405

※JR「武蔵境駅」南口より小田急バス〔吉01〕〔境91〕
〔境93〕に乗り8分。「西野」下車徒歩3分。
京王線「調布駅」北口より〔境91〕〔鷹51〕に乗り20分。
「西野」下車徒歩3分。

※車での来校はお断りします。



●その他

- ・講義は正規学生と共に受けていただきます。講座によっては、ロールプレーなどの参加型のものもあります。
- ・学内のルールを守られない方や正規学生及び他の受講生、教職員への迷惑行為をされた方は、期間途中でも受講をお断りいたします。（受講料の返金はありません）
- ・正規学生が5人未満の講義は、閉講になる場合がありますのでご了承ください。
- ・講座によっては、講師の都合（学会・出張等）で休講になり、別の日程で補講をおこなう場合があります。また受講人数等の調整で教室が変更となる場合があります。これらは、公開講座掲示板でお知らせいたしますので毎回必ずご確認ください。
- ・授業を欠席する場合は、事後で結構ですので直接ご自分で教員にご連絡下さい。また授業のレジメ等の取り置きは、事務局ではいたしておりませんのでご了承ください。
- ・介助等が必要な場合にはご自身で準備していただくようお願いしております。
- ・駐車場がありませんので、車での来校・通学はお断りしております。
- ・自転車で来校される場合は、学生支援センターの窓口で駐輪許可シールを配布していますのでこちらを自転車に貼ってください。
- ・講座の見学制度は設けておりませんので、予めご了承ください。
- ・一旦申し込まれた講座の変更は、原則としてできません。（受講料の返金はありません）

【キリスト教学部門】

公開講座名（担当講師）		講 座 内 容	期間 / 曜日 / 時間
前 期	日本における死生学 石居基夫（ルーテル学院大学学長）	日本の伝統的の死生観の形成を歴史的な視点からさぐります。「死」と「生」についての日本的霊性が聖書的霊性とどのように出会うのでしょうか。 （日本における死生学）	4 / 10 ~ 7 / 10 毎週金曜日 15 : 10 ~ 16 : 50
	食といのちと環境 上村敏文（ルーテル学院大学准教授）	キリスト教農家の立体農業の歩み、「森と海」との関係、「いのち」の根源について比較宗教、文化の立場から幅広く考察する。 （食といのちと環境Ⅰ）	4 / 7 ~ 7 / 14 毎週火曜日 15 : 10 ~ 16 : 50
	キリスト教の人間観Ⅰ ジェームズ・サック （ルーテル学院大学教授）	いろいろな視点から人間を理解し、その存在の意味を探ります。事前に本を読み少人数のグループで自分の意見を分かち合います。 （キリスト教の人間観Ⅰ）	4 / 9 ~ 7 / 9 毎週木曜日 10 : 40 ~ 12 : 20
	美術史への招待 真下弥生 （ルーテル学院大学非常勤講師）	古今東西の美術作品を幅広く、スライドを使用し、時に大学周辺をフィールドワークして鑑賞しながら、歴史的背景・描写・技法等を多角的に分析することで、「見る」行為を再考し、深めていきます。 （美術史）	4 / 8 ~ 7 / 15 毎週水曜日 8 : 50 ~ 10 : 30
後 期	キリスト教と死生学 石居基夫（ルーテル学院大学学長）	キリスト教における「死と生」に対する神学思想の歴史的展開を追います。聖書的「死と復活」の信仰は日本人に何を教えるのでしょうか。 （キリスト教と死生学）	9 / 25 ~ 1 / 15 毎週金曜日 15 : 10 ~ 16 : 50
	旧約聖書の人間論 大串 肇（ルーテル学院大学教授）	旧約聖書の人間論について、誕生と死、魂、霊、肉、心そして人間の定めとは何か。いかに生きるべきか、わかりやすく解説します。 （旧約聖書の人間観）	9 / 24 ~ 1 / 14 毎週木曜日 15 : 10 ~ 16 : 50
	キリスト教の人間観Ⅱ ジェームズ・サック （ルーテル学院大学教授）	いろいろな角度から人間が抱えるジレンマと向きあいます。講義や小グループで議論し、ジレンマを解決する方法を考え、その選択肢を学びます。 （キリスト教の人間観Ⅱ）	9 / 24 ~ 1 / 14 毎週木曜日 10 : 40 ~ 12 : 20
	五感のクリスチャン・スピリチュアリティ ジェームズ・サック （ルーテル学院大学教授）	理論について学ぶことだけでなく、スピリチュアリティを日常生活でどのように用いることができるかについても体験的に学びます。 （五感のクリスチャン・スピリチュアリティ）	9 / 23 ~ 1 / 13 毎週水曜日 13 : 20 ~ 15 : 00
	『新約聖書』ってどんな書物 徳野昌博 （ルーテル学院大学非常勤講師）	キリスト教の経典。手紙あり、歴史書あり、伝記のようで伝記でない『福音書』、そして『黙示録』ありの27文書。興味津々。 （聖書入門Ⅱ（新約））	9 / 24 ~ 1 / 14 毎週木曜日 17 : 00 ~ 18 : 40
キリスト教と美術 真下弥生 （ルーテル学院大学非常勤講師）	キリスト教に関わる美術作品を、草創期から現代美術まで幅広くスライドで鑑賞しながら、美術と宗教の関係、歴史的背景や表現形式の変遷、キリスト教文化との相互の影響などを検討します。 （キリスト教美術特講）	9 / 23 ~ 1 / 13 毎週水曜日 8 : 50 ~ 10 : 30	

※講座内容の文末の（ ）は通常の開講授業名です。

【社会福祉学部門】

	公開講座名 (担当講師)	講 座 内 容	期間 / 曜日 / 時間
前 期	地域福祉の考え方と発展過程及び地域福祉の主体 市川一宏 (ルーテル学院大学教授)	地域で安心して、その人らしく暮らすことの実現をめざす「地域福祉」の基本的考え方や、地域福祉の発展過程と現在、これからの地域福祉実践の原理、住民・ボランティア・NPO・社会福祉法人・行政・社協の役割について学びます。(地域福祉論Ⅰ)	4/8~7/15 毎週水曜日 8:50~10:30
	子どもの福祉と家族 加藤 純 (ルーテル学院大学教授)	育児不安や虐待、親の離婚、アルコール問題、不登校など、子どもの幸せや子育てに関わる課題について理解を深めます。(児童福祉の諸問題)	4/7~7/14 毎週火曜日 8:50~10:30
	障害者福祉の諸問題 高山由美子 (ルーテル学院大学教授)	障がいのある人が地域で普通の暮らしを実現し、継続していくための課題である日常生活の支援、就労、教育のあり方等について、権利擁護の視点から学びを深めていきます。(障害者福祉の諸問題)	4/9~7/9 毎週木曜日 13:20~15:00
	社会福祉と国際協力 原島 博 (ルーテル学院大学教授)	国際協力の考え方を歴史的に踏まえて、今日の国際協力の枠組みと実際から国際協力のあり方を学びます。(社会福祉と国際協力)	4/7~7/14 毎週火曜日 8:50~10:30
後 期	地域福祉の推進方法と災害と地域福祉 市川一宏 (ルーテル学院大学教授)	コミュニティソーシャルワーク、地域ニーズ把握の方法、地域福祉の計画化、社会資源の活用・調整・開発、地域生活を支える地域福祉サービス、福祉サービスの評価と質の確保、地域福祉財源、災害と地域福祉について学びます。(地域福祉論Ⅱ)	9/23~1/13 毎週水曜日 13:20~15:00
	ケースワークの基礎 浅野貴博 (ルーテル学院大学専任講師)	個人や家族への援助について講義と演習を通して学びます。相談援助のための基礎的な面接技術や展開過程などを学びます。(ソーシャルワーク論Ⅱ)	9/29~1/19 毎週火曜日 17:00~18:40
	ターミナルケアとグリーフワーク コーディネーター 加藤 純 (ルーテル学院大学教授)	終末期ケア、悲嘆作業、人の尊厳、存在価値について、社会、心理、精神、スピリチュアル、芸術、医療、身体的側面等から各専門家と共に探究します。(ターミナルケアとグリーフワーク)	9/23~1/13 (この期間内の 不定期水曜日) 15:10~18:00
	年金・医療・介護保険 金子和夫 (ルーテル学院大学教授)	急速な少子・高齢社会の進展に伴い、年金・医療・介護保険は数年ごとに大きな改正が実施されており、その内容と課題を考えます。(社会保障論Ⅱ)	9/24~1/14 毎週木曜日 15:10~16:50
	家庭生活と法律 金子和夫 (ルーテル学院大学教授)	家庭生活に大きな関わりをもつ民法は、男女平等や少子高齢化社会の中で変容をみせています。新聞記事などにより授業をすすめます。(権利擁護と成年後見制度)	9/24~1/14 毎週木曜日 17:00~18:40
	障害者福祉論 高山由美子 (ルーテル学院大学教授)	障がい福祉の理念・歴史をふまえて、障がい児・障がい者福祉に関する法制度と実践の現状を学び、今日的課題について共に考えていきます。(障害者福祉論)	9/24~1/14 毎週木曜日 13:20~15:00
	保健医療サービス 廣瀬圭子 (ルーテル学院大学専任講師)	毎日の生活に役立つ「保健・医療」に関するサービスや制度を、改正点を中心に解説します。テキストを用いて授業をすすめます。(保健医療サービス)	9/29~1/19 毎週火曜日 13:20~15:00
	精神に障害を持つ人へのソーシャルワーク 福島喜代子 (ルーテル学院大学教授)	心に病を持つ人の支援を包括的に行うのがソーシャルワークです。個人、グループ、家族、地域への支援などを総合的に学びます。(精神保健福祉の理論と相談援助の展開)	9/24~1/14 毎週木曜日 10:40~12:20
	グループワークの基礎と実際 福島喜代子 (ルーテル学院大学教授)	2人以上の人がいるときに行う対人援助について学びます。グループの力動、グループの実践原則、展開過程などを学び、演習へ参加していただきます。(ソーシャルワーク論Ⅲ)	9/24~1/14 毎週木曜日 8:50~10:30
	高齢者福祉論 市川一宏 (ルーテル学院大学教授)	介護保険、保健、医療、住宅、経済保障、就労、社会参加、生涯学習等の施策を総合的に学習し、高齢者福祉施策の実際と課題、そして将来のあり方を学びます。(高齢者福祉論)	9/25~1/15 毎週金曜日 10:40~12:20

※講座内容の文末の()は通常の開講授業名です。

【臨床心理学部門】

	公開講座名 (担当講師)	講座内容	期間 / 曜日 / 時間
前期	臨床心理学概論 植松晃子 (ルーテル学院大学准教授)	現在の臨床心理学の基礎となる理論を学びます。「精神分析」を中心に「分析心理学」、「行動主義心理学」、「人間性心理学 (来談者中心療法)」について理解を深めます。毎年、1年生が主に履修している臨床心理学の入門講座です。(臨床心理学概論)	4 / 8 ~ 7 / 15 毎週水曜日 8:50 ~ 10:30
	交流分析 白井幸子 (ルーテル学院大学名誉教授)	「交流分析」は1950年代に米国の精神科医、E. バーンによって創始された、「人間の心と行動に関するパーソナリティ理論」であり、人間の成長と変化を目指す心理療法理論です。交流分析は具体的でわかりやすい日常語を用いて、「人間の心の成り立ち」、「他人と気持ちのよい人間関係を築く方法」、私たちが生きていくのに必要な「ストローク」、また、私たちが人生という舞台上で無意識に演じている「人生脚本のテーマ」について語ってくれます。交流分析は自己理解に役立ちます。交流分析が最終的に目指す目標は「自律性の達成」です。(交流分析)	4 / 9 ~ 7 / 9 毎週木曜日 13:20 ~ 15:00
後期	福祉心理学 加藤 純 (ルーテル学院大学教授)	社会福祉分野での心理支援について事例を交え学びます。児童虐待などを題材に行政の権限、家族支援、心理治療の理解を深めます。(福祉心理学)	9 / 25 ~ 1 / 15 毎週金曜日 10:40 ~ 12:20

※講座内容の文末の () は通常の開講授業名です。

付属ルター研究所公開講座

	公開講座名 (担当講師)	講座内容	期間 / 曜日 / 時間
前期	ルター概論 江口再起 (ルター研究所所長)	ルターの改革運動は、聖書の学びから始まりました。神の言葉に心うたれたのです。ルターにとって「神の言葉」とは何だったのでしょうか。共に考えましょう。(ルターと聖書)	4 / 7 ~ 7 / 14 毎週火曜日 13:20 ~ 15:00
後期	ルターとルーテル教会 石居基夫 (ルーテル学院大学学長) 宮本 新 (ルーテル学院大学専任講師)	ルターの「教会」理解をはじめに学び、現代に至るルーテル教会の歴史とその中に見出される多様な教会のあり方を学びます。(ルーテル教会)	9 / 25 ~ 1 / 15 毎週金曜日 10:40 ~ 12:20

※講座内容の文末の () は通常の開講授業名です。
本学正規学生が5人未満の講義は、閉講になる場合があります。あらかじめご了承ください。

ルター研究所公開講座お申込み・お問い合わせ先

*お申込み方法、及びお申込み先はルーテル学院大学公開講座と同様になります。

ルター研究所公開講座へのお問い合わせにつきましては、所員が常駐しておりませんので、学生支援センターにてご用件をお伺い改めて担当者より回答いたします。多少お時間をいただく場合がありますのでご了承ください。

(教学担当：TEL 0422-31-4682)